

## 分野別ランキングTOP20

■ 国立大学 ■ 公立大学 ■ 私立大学 「」:総合順位・スコアが151位以下を示す

### 教育リソース

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	国	東京医科歯科大学	87.9	38	62.3
2	国	東京大学	87.8	1	88.5
3	国	京都大学	84.2	3	86.8
4	国	東北大学	83.6	2	87.4
5	国	浜松医科大学	82.8	92	49.2
6	国	東京工業大学	82.2	= 4	86.3
7	私	豊田工業大学	81.2	= 76	53.7
8	国	大阪大学	80.4	6	86.1
9	国	名古屋大学	80.1	= 4	86.3
10	公	札幌医科大学	79.6	111-120	44.1-46.2
11	国	九州大学	79.1	7	85.1
12	国	滋賀医科大学	78.5	131-140	39.6-42.0
13	私	兵庫医科大学	77.4	-	-
14	公	奈良県立医科大学	76.2	-	-
15	国	旭川医科大学	75.6	121-130	42.2-44.0
16	国	北海道大学	75.5	8	82.8
17	私	大阪医科大学	74.7	-	-
18	公	福島県立医科大学	74.5	111-120	44.1-46.2
19	私	日本医科大学	73.5	-	-
20	国	筑波大学	72.2	9	81.7

### 教育成果

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	国	東京大学	97.1	1	88.5
=2	国	京都大学	97.0	3	86.8
=2	国	大阪大学	97.0	6	86.1
4	国	東北大学	96.8	2	87.4
5	私	慶應義塾大学	96.5	11	75.4
6	国	名古屋大学	96.2	= 4	86.3
7	国	東京工業大学	96.0	= 4	86.3
8	国	北海道大学	95.6	8	82.8
9	国	九州大学	95.3	7	85.1
10	私	早稲田大学	91.2	10	75.9
11	国	一橋大学	87.1	14	72.4
12	国	筑波大学	86.4	9	81.7
13	国	神戸大学	83.2	13	74.4
14	国	広島大学	76.2	12	75.2
15	私	東京理科大学	68.1	= 31	63.5
16	国	千葉大学	67.0	16	70.6
17	私	立命館大学	65.7	22	67.5
18	私	上智大学	64.9	18	69.1
19	私	金沢工業大学	64.8	= 68	55.7
20	私	国際基督教大学	64.5	15	71.8

### 教育満足度

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	公	国際教養大学	99.9	20	67.9
2	国	東京大学	99.8	1	88.5
=3	国	東北大学	99.7	2	87.4
=3	国	京都大学	99.7	3	86.8
5	私	早稲田大学	99.5	10	75.9
6	私	慶應義塾大学	99.4	11	75.4
7	国	筑波大学	99.1	9	81.7
8	国	大阪大学	99.0	6	86.1
9	国	東京工業大学	98.8	= 4	86.3
=10	国	九州大学	98.7	7	85.1
=10	私	国際基督教大学	98.7	15	71.8
12	私	上智大学	98.6	18	69.1
13	国	名古屋大学	98.4	= 4	86.3
14	私	明治大学	98.3	34	63.3
15	国	北海道大学	98.2	8	82.8
16	国	一橋大学	97.8	14	72.4
17	国	広島大学	97.6	12	75.2
18	私	同志社大学	97.5	35	63.2
19	私	立命館大学	97.0	22	67.5
20	私	立命館アジア太平洋大学	96.1	= 24	65.4

### 国際性

順位	区分	教育機関	スコア	総合順位	総合スコア
1	私	立命館アジア太平洋大学	100.0	= 24	65.4
2	私	大阪経済法科大学	99.6	-	-
3	私	東京国際大学	95.7	141-150	38.6-39.5
4	私	麗澤大学	89.4	101-110	46.5-48.0
5	私	上智大学	88.8	18	69.1
6	国	東京外国語大学	87.5	27	64.9
7	公	福岡女子大学	85.7	48	59.8
8	私	山梨学院大学	84.7	-	-
9	私	国際基督教大学	83.9	15	71.8
10	私	北陸大学	83.5	-	-
11	私	垂細亜大学	78.8	141-150	38.6-39.5
12	公	会津大学	75.8	23	66.3
13	公	国際教養大学	74.4	20	67.9
14	私	神戸国際大学	73.9	-	-
15	私	明海大学	73.4	141-150	38.6-39.5
16	私	聖学院大学	73.1	-	-
=17	私	早稲田大学	72.9	10	75.9
=17	私	名古屋経済大学	72.9	-	-
19	私	神田外語大学	71.9	46	60.1
20	私	京都外国語大学	70.5	121-130	42.2-44.0

日本版では、総合ランキングのほか、分野別ランキングも発表された。分野別では設置区分別の特色が出ているほか、その分野で突出した大学がランキングしている。特に日本の弱みである「国際性」では、総合順位ではランク外となった私立大が多数入った。次のページでは、分野別の結果を、より詳しく見ていく。

### 特色が鮮明に反映される分野別ランキング

なお、THEは今回の指標がベストだとは思っていない。次年度以降、例えば在学生の満足度や進路決定率など、新たな項目の追加や、入試改革の流れの中で変化していくであろう学力についても、時代に即した指標を組み込んでいくことを検討中だ。より正確に教育力を評価できるよう、多くのステークホルダーからの意見を求めている。

「国際性」は、どれだけ国際的な環境になっているかを示す。割合は4分野のうち16%と最も低いのが、項目ごとの割合は8%と、低くない。

えめな一方で、研究者の評判調査は大学の実情をよく知っているとの理解から13%と高めた。

# THE世界大学ランキング日本版2017 評価指標解説と分野別ランキング

日本版の評価指標を、分野ごとのランキングと共に解説。自学の強化ポイントを見極めるヒントとして活用されたい。

**多様な角度から各大学の教育力に迫る**

まず、THEは、日本では認証評価が一定の教育水準を担保していると考えているため、認証評価を得ていない大学は評価対象外としている。その他の除外条件については左にまとめた。また、データの収集、集計プロセスについては、PWC(PricewaterhouseCoopers)世界の4大会計事務所の1つの監査を受けている。

「教育リソース」は、充実した

「教育満足度」は、教育に対する期待の実現度を示す。大学や大学に送り出した卒業生から情報を得る機会が多く、高校生の進路決定への影響力が非常に大きいことから、高校の進路指導教員を対象とした評判調査がもとになっている。

「教育成果」は、卒業生の企業での活躍や教育に対する評判を表す。企業の評判調査は上場企業に限定しているため割合は7%と抑

「除外条件」

- ① THEのデータコレクションポータルサイトにデータ入力しなかった大学
- ② ベネッセからの調査(協力・日経リサーチ)に回答していない大学
- ③ 資金、学生数に関するデータが入力されていない大学
- ④ 「認証評価」を受けていない大学

教育が行われる可能性を示す。土台となる評価のため、割合も大きく、項目数も多い。資金や教員数のほか、研究力に関するものや、大学合格者の学力も含む。研究力については、「教育力のベースになる」との考えから、学力については、「学力が高い学生が多いほど学びの環境が良化する」との考えから取り入れられた。

## 日本版2017の評価指標

分野	項目	割合	対象年	データ元	備考
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金(経常収入/在籍学生数)	10%	2015年	大学入力情報	
	学生一人あたりの教員数(専任教員数/在籍学生数)	8%	2015年	大学入力情報	
	教員一人あたりの論文数・被引用回数(論文数・被引用回数/専任教員数)	7%	2011-15年	エルゼビア社	ScopusよりTHEが抽出
	大学合格者の学力	6%	2015年	ベネッセ	ベネッセ総合学力テストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数(大学別の獲得件数/専任教員数)	7%	2015年	内閣府 HP	「競争的資金制度」一覧より文部科学省管轄のものを抽出
	高校教員の評判調査: グローバル人材育成の重視	13%	2016年	ベネッセ	調査対象: 日本の高校の進路指導教員。調査書発送校数: 5605校*、回答校数は2440校(全体の約89%の大学名が挙がっている。特定の地域に有利・不利が出ない集計)
教育満足度 Engagement	高校教員の評判調査: 入学後の能力伸長	13%	2016年	ベネッセ	
	企業人事の評判調査	7%	2015年	日経 HR 社	調査対象: 2016年2月現在の全上場企業3624社(ジャスコ等新興市場含む、外国企業は除く)。回答社数: 591社。調査項目: 過去2年間の新卒採用実績上位10大学について、学生のイメージを12項目、各6段階で聞いている
教育成果 Outcomes	研究者の評判調査	13%	2015-16年	THE世界大学ランキング	研究者向けの評判調査から日本の大学に関する日本の研究者の回答を抽出
	外国人学生比率(在籍外国人学生数/在籍学生数)	8%	2015年	大学入力情報	
国際性 Environment	外国人教員比率(在籍外国人教員数/専任教員数)	8%	2015年	大学入力情報	

\*複数の科やコースを設置している高校には、調査書を複数校送付した場合もある。

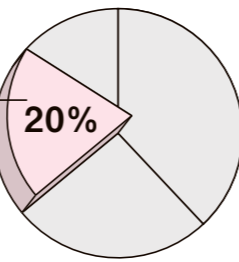


分野別<教育成果> 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	97.1	1	首都大学東京	64.1	1	慶應義塾大学	96.5
=2	京都大学	97.0	2	国際教養大学	63.6	2	早稲田大学	91.2
=2	大阪大学	97.0	=3	大阪市立大学	59.8	3	東京理科大学	68.1
4	東北大学	96.8	=3	大阪府立大学	59.8	4	立命館大学	65.7
5	名古屋大学	96.2	5	北九州市立大学	58.1	5	上智大学	64.9
6	東京工業大学	96.0	6	兵庫県立大学	56.4	6	金沢工業大学	64.8
7	北海道大学	95.6	7	横浜市立大学	54.1	7	国際基督教大学	64.5
8	九州大学	95.3	8	滋賀県立大学	52.1	8	同志社大学	60.9
9	一橋大学	87.1	9	秋田県立大学	50.2	=9	明治大学	59.6
10	筑波大学	86.4	10	広島市立大学	43.6	=9	東海大学	59.6

\*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育成果  
Outcomes



▶ 企業人事の評判調査：7%  
▶ 研究者の評判調査：13%

**成果を出す教育強化と認知されることも重要**

設置区分別TOP10内で見ると、研究者の評判調査の割合が高いこともあり国立大のスコアが高い。私立大ではTOP2の慶應義塾大学、早稲田大学のスコアが3位以下を大きく引き離している。一方で金沢工業大学、国際基督教大学といった特色ある教育を行っている大学もTOP10に入っている。総合順位との相対的な位置付けでは、東海大学（総合85位）のスコアが高い。

スコアの高い大学に見られる傾向としては、「理工系の研究力を強みにしており、研究者からの評判が高い」「大規模大学であり、多くの卒業生が社会で活躍中」「文理問わず実学系の学部を持ち、就職に強いと認知されている」などがある。

前者2点は学部構成、歴史、規模によるところが大きいものの、これからの社会で求められる人材や能力養成に産学共同で取り組み続け、教育成果を出すことが重要である。

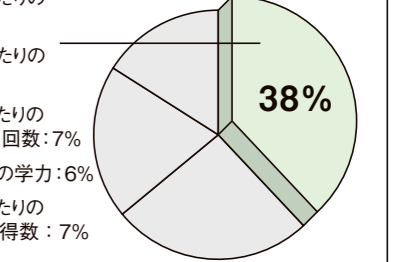
努力が反映されやすいのは3点目だ。実際に就職に強いことを前提に、そのイメージをいかに定着させていくか、広報力が問われる。

分野別<教育リソース> 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京医科歯科大学	87.9	1	札幌医科大学	79.6	1	豊田工業大学	81.2
2	東京大学	87.8	2	奈良県立医科大学	76.2	2	兵庫医科大学	77.4
3	京都大学	84.2	3	福島県立医科大学	74.5	3	大阪医科大学	74.7
4	東北大学	83.6	4	名古屋市立大学	68.0	4	日本医科大学	73.5
5	浜松医科大学	82.8	5	横浜市立大学	67.6	5	金沢医科大学	71.1
6	東京工業大学	82.2	6	大阪市立大学	64.4	=6	関西医科大学	70.9
7	大阪大学	80.4	7	大阪府立大学	63.8	=6	東京慈恵会医科大学	70.9
8	名古屋大学	80.1	8	九州歯科大学	63.7	8	東京女子医科大学	70.8
9	九州大学	79.1	9	首都大学東京	60.7	9	聖路加国際大学	70.5
10	滋賀医科大学	78.5	10	会津大学	60.3	10	埼玉医科大学	65.9

\*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育リソース  
Resources



▶ 学生一人あたりの資金：10%  
▶ 学生一人あたりの教員数：8%  
▶ 教員一人あたりの論文数・被引用回数：7%  
▶ 大学合格者の学力：6%  
▶ 教員一人あたりの競争的資金獲得数：7%

**入学者の学力向上と教員の研究努力がカギ**

どれだけ充実した教育が行われる可能性があるかは、資金の豊富さや学生一人あたりの教員数が最も影響するため、国からの補助が相対的に厚い国立大（特に医学部を持つ大学）や、医療系私立大のスコアが高くなる傾向にある。

総合順位では100位以下であった札幌医科大学、滋賀医科大学など、医大がTOP10にランクインしている。その中であって、医学部を持たない首都大学東京、会津大学、豊田工業大学が上位にランクインしていることは注目値する。

上位にランクインした大学を見ると、全体的に資金力を生かして学生に対して手厚い教育環境を用意しているところが多い。

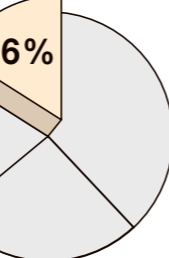
それ以外では、「合格者の学力を高めている」「教員が優れた論文を書き、かつ大学に競争的資金を呼び込んでいる」大学がめだっている。これらの施策は、学生の教育環境をよくし、かつ、「高校教員の評判調査」「研究者の評判調査」といった教育満足度や教育成果を底上げするものでもある。長期的視点で地道に取り組んでいきたい項目だ。

分野別<国際性> 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京外国語大学	87.5	1	福岡女子大学	85.7	1	立命館アジア太平洋大学	100.0
2	筑波大学	70.1	2	会津大学	75.8	2	大阪経済法科大学	99.6
3	長岡技術科学大学	69.6	3	国際教養大学	74.4	3	東京国際大学	95.7
4	名古屋大学	68.9	4	北九州市立大学	63.1	4	麗澤大学	89.4
5	一橋大学	67.9	5	宮崎公立大学	56.0	5	上智大学	88.8
6	大阪大学	64.9	6	長崎県立大学	55.1	6	山梨学院大学	84.7
7	東北大学	64.8	7	新潟県立大学	54.9	7	国際基督教大学	83.9
8	九州大学	64.4	8	島根県立大学	51.0	8	北陸大学	83.5
9	東京工業大学	63.7	9	愛知県立大学	48.3	9	亜細亜大学	78.8
10	東京芸術大学	63.1	10	前橋工科大学	48.0	10	神戸国際大学	73.9

\*留学生募集エージェンシーIDPIによる、同社を通じて留学した学生、留学予定の学生、計463人を対象とした調査。2012年実施。

国際性  
Environment



▶ 外国人学生比率：8%  
▶ 外国人教員比率：8%

**THEの知名度を生かし海外の学生にアピールを**

国際性は留学生と外国人教員の在籍比率から算出されている。全大学を通じた首位が立命館アジア太平洋大学であるのをはじめ、私立大のスコアの高さがめだつ。私立大のTOP10には、総合順位が151位以下の大学が4校入っている。

一口に外国人の比率が高いといってもいくつかのタイプがある。1つは「学位の取得を目的とした正規留学生を多く受け入れている」例である。次に、「外国人教員による国際色豊かな授業が展開されている」例があり、立命館アジア太平洋大学などがそれにあたるだろう。同大学では学生と教員の半数が外国人で、学部での講義の8割を日英二言語で開講している。

外国人留学希望者に向けた募集活動では、日本語学校に広報を行うほか、海外在住者にアプローチする手法も増えている。

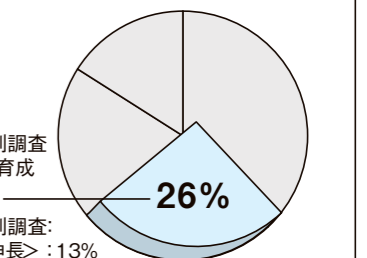
\*ある調査によると、約半数の留学生が、留学先選びにTHEのランキングを活用している。教育力を示すエビデンスとして、日本版のスコアの活用も検討してみるとよいだろう。

分野別<教育満足度> 設置区分別TOP10

国立			公立			私立		
順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア	順位	教育機関	スコア
1	東京大学	99.8	1	国際教養大学	99.9	1	早稲田大学	99.5
=2	東北大学	99.7	2	会津大学	87.4	2	慶應義塾大学	99.4
=2	京都大学	99.7	3	北九州市立大学	86.8	3	国際基督教大学	98.7
4	筑波大学	99.1	4	首都大学東京	84.6	4	上智大学	98.6
5	大阪大学	99.0	5	都留文科大学	79.0	5	明治大学	98.3
6	東京工業大学	98.8	6	高崎経済大学	75.0	6	同志社大学	97.5
7	九州大学	98.7	7	福岡女子大学	73.6	7	立命館大学	97.0
8	名古屋大学	98.4	=8	愛知県立大学	68.8	8	立命館アジア太平洋大学	96.1
9	北海道大学	98.2	=8	長崎県立大学	68.8	9	近畿大学	95.3
10	一橋大学	97.8	10	秋田県立大学	67.7	10	関西学院大学	94.9

\*同順位の場合は、原則として大学名の英文表記のアルファベット順に掲載しています。

教育満足度  
Engagement



▶ 高校教員の評判調査<グローバル人材育成の重視>：13%  
▶ 高校教員の評判調査<入学後の能力伸長>：13%

**資金力、入試難易度とは必ずしも比例しない**

設置区分別TOP10を見ると、国私でのスコアの差はほとんど見られない。教育リソースでは国立のスコアが高かったことを考え合わせると、私立大のパフォーマンスのよさがうかがえる。私立大のTOP10は大規模大学が多いが、11位以降には神田外語大学（13位）、金沢工業大学（18位）、津田塾大学（20位）といった中規模以下の大学も入っている。

公立大、私立大のランキング上位には入試難易度が上位ではない大学も入っており、教育満足度と入試難易度は必ずしも相関しないことがわかる。

上位大学の傾向を見ると、「グローバル人材の育成に力を入れていく」「入学時の学力によらず、受け入れた学生を丁寧に教育し、就業力を高めている」といった特徴と、これら2点が外部に伝わっていることが読み取れる。

前者2点の特徴がどの大学にとっても重要な施策であることはもちろんだが、それらが優れているも、広報施策が不足していると認知度が上がらない。このようなランキングを活用して教育力を可視化した広報も重要だ。